

平成27年度 まちづくり推進部 十文字地域局 方針書

まちづくり推進部 十文字地域局長 松本 和弘

1. 十文字地域局の使命（役割）

豊かな地域社会を創造するため、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

- ・市民に親しまれ信頼される窓口対応。
- ・市民の意見要望を集約し、重要度を判断した迅速な対応。
- ・もっとも身近な市民との接点としての行政施策の説明と施行。

2. 平成27年度における課題（前年度の振り返りから）

- ・十文字庁舎建設計画を早期実施に向けて、地域・関係部局と調整し方向性を定めていく必要があります。
- ・十文字地域の特色を活かした地域づくりを推進していくことで、駅前の活性化を含めたまちづくりにつなげていく必要があります。

3. 平成27年度の『スローガン』

毎日の仕事のちょっと先！ さがしてみよう、地域のたから

4. 年度目標となる方針（目標）

- ①市民から親しまれ信頼される地域局
- ②庁舎建設計画の早期実現
- ③活力ある安心安全な地域づくり

5. 重点取組項目

(1)	項目	市民の立場に立った誠実な対応と信頼される地域局
	取組内容	・来庁者へ職員が率先してあいさつをする。 ・職員が動き、ワンストップサービスに努める。 ・職員自らのスキルアップに努める。 ・報連相を徹底し、情報共有を図る。
(2)	項目	庁舎建設事業の推進
	取組内容	・十文字の将来を見据えた新庁舎建設の早期実施に向け積極的に取り組む。
(3)	項目	活力ある安心安全な地域づくり・まちづくりの推進
	取組内容	・地域づくり協議会組織と事業の円滑な実施を支援し、地区会議による地域活動の充実を図る。 ・首都圏十文字会との交流の促進による住みよい十文字の情報発信に努める。 ・「安心安全な暮らしやすい十文字」実現のため、地域協働の組織づくりの設立を目指す。

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況【現状】

(1) 市民の立場に立った誠実な対応と信頼される地域局

- ・職員研修へ積極的に参加し、各職員のスキルアップが図られた。また、毎週連絡会議を開催し、地域局内での共通認識を図りながら業務に努めた。
- ・窓口が変わった業務もあり、行く場所が分からない場合は、窓口の職員が声をかけワンストップサービスに努めた。内容によっては、窓口へ案内をした。

(2) 庁舎建設事業の推進

- ・庁内に検討会議を立ち上げ、早期実施を目指し5回の会議を開催した。

(3) 活力ある安心安全な地域づくり・まちづくりの推進

- ・地域づくり協議会委員とともに各事業へ積極的に参加し、協議会で検証を行いこれからの取組みについて協議を行った。
- ・首都圏十文字会との交流事業準備と地域情報の提供を行った。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

(1) 市民の立場に立った誠実な対応と信頼される地域局

- ・職場環境の改善を図りながら、引き続き挨拶での対応を進め、親しまれる地域局を目指し、市民サービスの向上に努める。
- ・ワンストップサービスが提供できるよう、庁内の情報共有に努める。

(2) 庁舎建設事業の推進

- ・内容をまとめ、次年度当初への予算化ができるよう、関係課との協議を進める。
- ・関係団体等へ説明を行い、建設事業を進める。

(3) 活力ある安心安全な地域づくり・まちづくりの推進

- ・「元気の出る地域づくり事業」の検証を速やかに行い、次年度事業へ反映させる。
- ・各自治会の要望等を調査検討し、地区会議や自治会等と連携しながら協働組織へつながるよう推進する。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

(1) 市民の立場に立った誠実な対応と信頼される地域局

- ・年間13,000件以上のお客様に複数の職員で対応したことにより、反応も好評であった。
- ・新分別や農事相談も含め、丁寧な説明と対応に努めることができ、職員のスキルアップにも繋がった。
- ・職員間の連携も図れたことで、各種の事案に対しスピーディに対応できた。

(2) 庁舎建設事業の推進

- ・小学校統合計画により、庁舎建設について当初予算への計上ができなかった。
- ・次年度は、庁舎建設及び老朽化した周辺施設の検討を含め、早期に事業着手を進めたい。

(3) 活力ある安心安全な地域づくり・まちづくりの推進

- ・交流センター化に向けた市の方針が、未確定のため、各公民館や地区会議及び関係住民へ十分な説明ができなかった。
- ・市制10周年にあたり、地域づくり協議会と首都圏十文字会の交流会の開催等で充実した活動ができた。